

九条の会・いすみ

会 報 ・ 第 3 号
発行日 : 2015年10月7日
発行人 : 九条の会・いすみ市
運営委員会

私たちは
あきらめ
ない

許せない安倍政権の暴挙！
全国から抗議の声があがる
繰り広げられた運動は歴史に例をみない広がり
をとまらないこのうねりを 繋げよう 明日に！

雨の中
力強い民衆
のコールが
国会前に響
き渡りました

8月30日の国会前のデモには九条の会・いすみ市から7名が参加しました（別途個別参加 複数名）

「戦争法」反対の声は法律制定後も国民の多数です

9月19日安保関連法は、中央・地方公聴会の意見を完全に無視する形で「強行採決」されました。昨年7月1日集団的自衛権を認める閣議決定からこの「法律成立」までの間に多くの国民が国会前を埋め尽くし、全国で反対の声を上げてきました。

「私」として学生、ママ、学者、市民が個人として運動を創り参加してきたのです。国会審議を通じて国民は、よく分からないということから、変だと感じ、間違っているという認識になり、反対する国民が多数派になりました。「強行採決」感を薄め、少しでも国民の支持があるかのように3党を取り込みましたが、法律の中身は何ら変わっていないのです。

「戦争法」は違憲・無効です

憲法学者・元内閣法制局長官・弁護士などの圧倒的多数の法律専門家が違憲と言い、ついには元最高裁長官も違憲だと考えていることが明らかになりました。法案提出前にアメリカ高官に法律制定を約束する自衛官制服組トップ統合幕僚長、公然とアメリカと約束し、アメリカ議会で演説する安倍総理大臣。法律制定前に作戦計画を討議する幕僚たち、軍部の独走が心配されます。また、装備庁を創り武器を製造し輸出するという死の商人たちとも一体になって動いていることも明らかになりました。「防衛費」も増加されてきています。こうしたことが憲法9条の元でなぜ許されるのでしょうか。最高法規の憲法に違反する法律は無効です。戦争体制は平和憲法とは相容れないのです。

私たちは決して忘れない

子どもの乗った艦船、ホルムズ海峡など前言を簡単に翻し、自分の立場を繰り返し、正面からは質問に答えない。要求された資料も提出しない。

私たちは、この国会審議の経過と強行採決を忘れません。

様々なもつともらしい甘い政策に惑わされず、あらゆる国政選挙時には「戦争法」に賛成した政党（5党）を選ばないようにしましょう。

安倍自民党総裁は憲法改正も視野に入れています。

私たちは不断の努力で憲法を守りましょう

（文責近藤）

私たちは憲法九条を手放さない！今こそ九条が輝くときだ！

活動報告

* いすみ市議会へ 安保関連法案撤回に関する請願を
九条の会・いすみ市（代表者三名）が提出しました。
九月二十九日、本会議で荒井議員・岩井議員の二名のみ
請願賛成しましたが、不採択となりました。

* 市内中学生 広島派遣報告会に 当会より
四名が参加、生徒に「あたらしい憲法のはなし」を
贈呈し、九条の国際的役割について話しました。

憲法カフェⅡ 戦後70年戦争を語る

先人たちの貴重な戦争体験に
耳を澄ませば
遠い過去は現在へと繋がる
忘れてはならない
沢山の犠牲のもと手にした
民主主義の道のりを
私たちは二度と同じ過ちを
繰り返さないために
歴史を直視し 学び考える
子や孫 若者の未来が
平和で有り続けられるように
どんな困難があろうと
私たちは**九条を守り抜こう！**

2015・9・5
大原文化センター 於
22名の参加



戦争ほど悲惨な
人為的殺戮はない！

・「いすみ市の戦争遺跡を訪ねる」 交流会

10月24日(土)AM10時～PM14時頃
大原文化センター

・憲法カフェⅢ

11月21日(土)時間追ってお知らせ
「安保関連法案はなぜ戦争法か」
大原文化センター

8月末までに「戦争法案」廃案署名活動を
駅前、戸別訪問等で行い、**887筆の署名**を
九条の会本部に送りました。
引き続き声をあげていきましょう！

・九条の会・いすみ市第1回総会

12月13日PM14:30～PM16:30
大原文化センター

9月末現在の
会員63名です

会員随時募集中 ・ 年会費500円。

9条の会アピールに賛同するいすみ市にゆかりの有る方 ぜひご参加ください！

大原のHさん

平和は絶対に守らなければならないと
思います。
私も東京で焼失され「疎開」してきました。
子や孫にはその様な無残な事にならないよう
に、九条を守って行きたいと
思います。

大原のYさん

両親が戦争体験者です。
子供の頃より戦時中の話を
よく聞かされておりました。
母が満州に行っていたので
引き揚げて来た時の話やその頃の様子など
私は知らない時代に生まれてきましたが
絶対に戦争は何があっても
やってはいけないと思います。



高校生も署名に協力
18歳選挙権の話し
自由民権運動
千葉県発祥の地の話
し
元教員 和久さんの
青空教室

入会者から
ひとこと